



虹の松原だより

第17号

発行日：2012年6月1日
発行者：NPO法人KANNE

ハルゼミ発見！！



ハルゼミ
いるかなー



抜け殻
発見！！



5月13日(日)、吉田喜美明先生を講師に招き「ハルゼミを探そう！」を虹の松原で開催しました。約45名の参加者の皆様とハルゼミを探しました。抜け殻は次々に見つけることができました。生きているハルゼミは中々見つけることが出来ませんでした。2名が生きているハルゼミを見つけることが出来ました。ハルゼミは松の高い所で鳴いているので、高い所ばかりを探していましたが、発見したハルゼミはなんと松の木の低い所にいました。必ず高い所にいるってわけではないのです!!ハルゼミは「ムゼムゼー」「ジージー」と鳴いています。是非、虹の松原で探してみてください。(森)

豆知識 ハルゼミは4月末から6月にかけてマツ林に生息する体長3cm程の小さな小さなセミです。全身が黒っぽい色をしていて高木に多いのでとても見つけにくいセミです。マツ林の外に出ることはなく生息域は局所です。日本では松くい虫によるマツの減少など、ハルゼミの生息地は各地で減少しています。各自治体で絶滅危惧種に指定されていることが多いセミです。

私たちは虹の松原再生・保全活動に取り組んでいます

大西工業株式会社



当社では、「未来の子供たちへ 地球にやさしい暮らしづくり」をモットーに、ISO(品質)9001・(環境)14001を維持しながら様々な地域貢献活動に取り組んでいます。その一環として虹の松原保全活動に平成22年度から年3回の計画で参加しています。当初はかなりの労力を要しましたが、雑木や下草を処理すると次回からは森林浴を感じながらの快適な作業となります。今後も環境保全の重要性を認識し、唐津市民の財産「日本一の松原」を守る手助けとなるよう継続活動を行っていきたいと思います。

虹松まもるくん日記!!

外町小で緑のカーテン作り



こんにちは～！5月7日(月)に外町小学校で、4年生のみんなと、唐ワンさんとゴーヤ先生と緑のカーテンを作ってきたよ！！土と肥料を混ぜてゴーヤの苗を植えたよ。沢山葉っぱを作って、涼しくなればいいなあ！！1年ぶりにゴーヤダンスも踊ったんだよ！！完璧に踊れたんだよ！！ゴーヤについても勉強したし、KANNEさんの事務所の前でも緑のカーテン作ればって言うてみよう。ホクがある松原の中は日影があるし、海からの風が涼しくて気持ちいいんだよ！！夏になったら外町小学校に行行ってこよおかな！！みなさんは緑のカーテン作ってますか？



マツノマダラカミキリの成虫が飛び出した後の穴



マツノマダラカミキリの幼虫



5月8日(火)には、虹の松原と鏡山で松くい虫被害木調査が行われました。今年度は、71本の被害木が発見されました。

イベント情報



■ 虹の松原 植物探し隊 ■

- 開催日時:6月23日(土)9:00~12:00
- 受付開始:8:45~ ※小雨決行、雨天中止
- 集合場所:虹の松原西口交差点東側駐車場
- 参加費:50円/人(保険代)
- 対象者:どなたでも(小学生以下は保護者同伴)
- 持ち物:歩くのに適した動きやすい服装(できるだけ長袖・長ズボン)・靴、飲み物、タオル、虫よけ、帽子など必要なもの
- 事前申込:下記のお問い合わせ先まで電話かFAX
- 講師:川浪誠先生 ※6月19日まで!

一斉活動

5月27日(日)一斉活動を行いました。約150の方に参加して頂き、松枯れの広がりを防ぐため枯れ枝拾いを行いました。枝の中にあるマツノサイセンチュウを運ぶマツノマダラカミキリが飛び立つ前にたくさんの枝を集めることが出来ました。ご参加頂きまして誠にありがとうございました。



松原探Q ~もっと虹の松原を知ろう!~

今回も素敵なプレゼントをご用意しております!

『国民宿舎 虹の松原ホテル』

ペアランチチケット!
(1名様)



さて、今回の問題は…コチラ↓↓

〈問題〉

毎年問題となっている『松くい虫』の被害。原因となるマツノサイセンチュウを運ぶ虫は、次のうちどれでしょう?

- ①マツノセンチュウカミキリ
- ②マツノオオカミキリ
- ③マツノマダラカミキリ
- ④マツノニジイロカミキリ

松原だよりをよく読めば、わかりますよねえ~☆
応募はハガキかFAXで♪(〆切 6月24日必着)

[必要事項]

問題の答え、住所(プレゼント発送先)、氏名(所属団体)年齢、電話番号を記載の上、当会宛にお送りください。



☆前回当選者の発表☆(なののゆ入浴ペア無料券)
S・M様(唐津市) おめでとうございました!

教えて、川浪先生!【連載2】

今回はハマエンドウについてのお話です。



日本の海の高湿と潮風、飛砂にさらされる砂浜には、他では見られない特殊な植物が生育しています。そこで、これから夏の間は砂浜の植物を、秋から春先にかけては、虹の松原周辺の植物を紹介して行きます。4月に入ると砂丘には色々の植物が新芽を伸ばし、花を咲かせます。新芽を食用にしたり、種子を風邪薬に利用するハマボウフウが白い花をつけますが、少し地味です。ハマボウフウに続いて花を咲かせるのがハマエンドウです。赤の濃いもの、紫色の多いもの、青色の濃いものなど花の色が混ざり合って、スイトピーに似た美しい花を咲かせます。春先から初夏にかけて砂浜を彩る可憐な花です。濃緑色に伸びた葉の間から、長い柄を出して、これに房のような数個の花をつけます。草丈10~30cmくらい、付近に寄りかかるものがないため、地下茎を砂の中に伸ばし、這うようにして大群落を作ります。日本全土ははじめ、アジア、ヨーロッパ、南北両アメリカの海岸に分布していると言われます。

一定区画を受け持って

再生・保全活動をしてみませんか!?

再生・保全活動とは、白砂青松の美しい虹の松原に育て守って行こうという活動です。具体的には、松の落ち葉をかき集めること(松葉かき)や除草作業です。

- ・どなたでも活動に参加できます!
- ・好きな時、好きな時間に活動ができます!
- ・道具等も準備します!
- ・ボランティア証明書も発行できます!
- ・ボランティア保険にも加入します!

(費用は当会が負担します)

再生・保全活動登録者の動き!

【団体】130団体(+1団体)

【個人】37人 (±0人)

【人数】5019人(+5人) 平成24年5月31日現在

5月の再生・保全活動の状況!

【団体】のべ18団体

【個人】のべ17人

【人数】のべ613人

※当会が把握している情報により



NPO法人唐津環境防災推進機構KANNE(かんね)

〒847-0013 佐賀県唐津市南城内2-6

TEL 0955-80-7060 FAX 0955-80-7061 E-mail kanne@psc.bbq.jp

